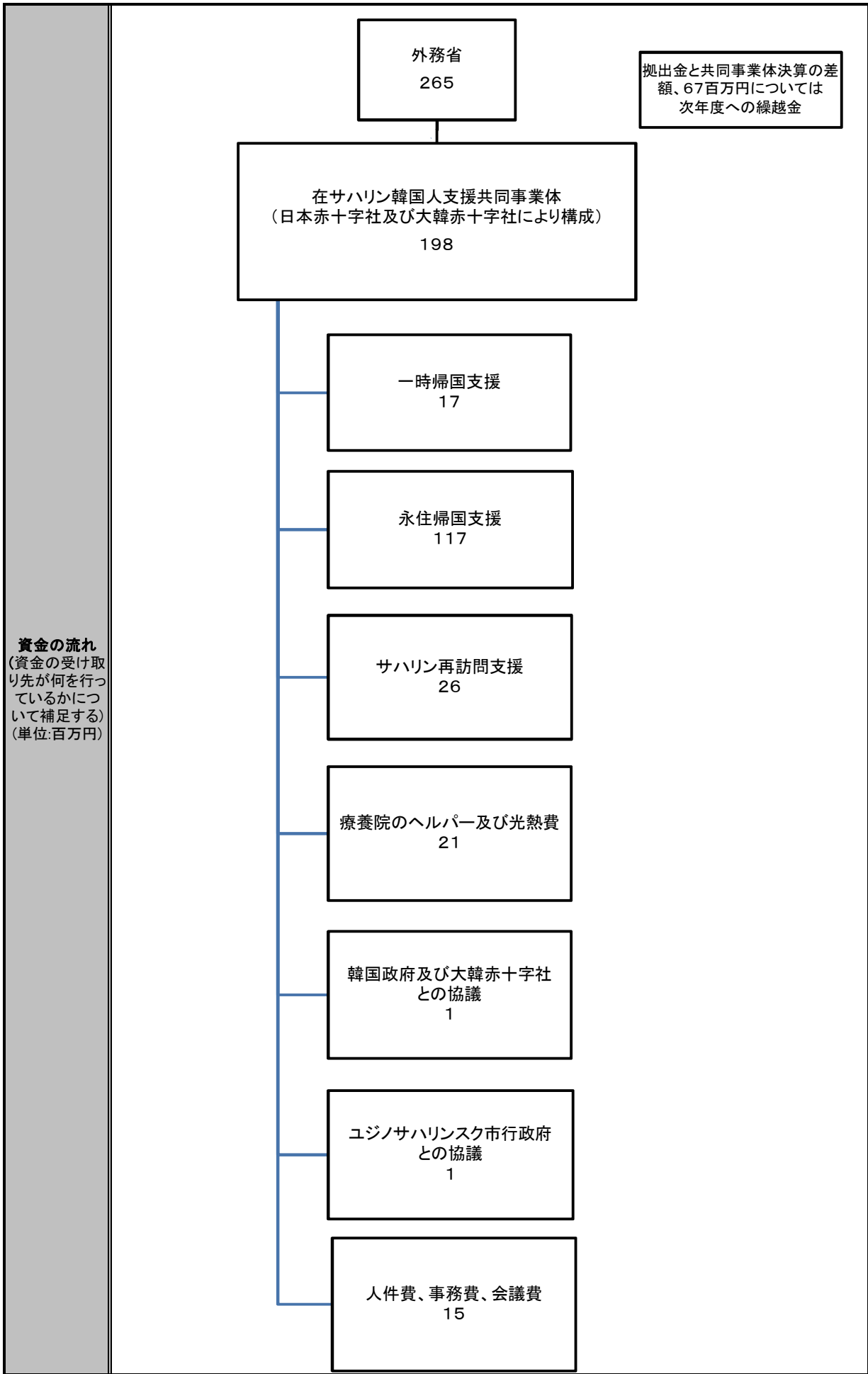


行政事業レビューシート (外務省)						
案件名	在サハリン韓国人支援特別基金拠出金		案件開始年度	平成元年度	作成責任者	
担当部局	アジア大洋州局		担当課室	北東アジア課	課長 島田順二	
会計区分	一般会計		上位政策	経済協力に係る国際機関等を通じた政務及び安全保障分野に係る国際貢献に必要な経費		
根拠法令 (具体的な条項も記載)	外務省設置法四条三項		関係する計画、通知等	在サハリン韓国人支援共同事業体協定書(平成元年)		
案件の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	平成元年度に日本赤十字社・大韓赤十字社間で設立された「在サハリン韓国人支援共同事業体」に対して、平成22年度においても在サハリン「韓国人」の一時帰国及び永住帰国等の支援のための経費を拠出し、また、今後の永住帰国支援策の検討・実施のための協議費用及びサハリン残留者支援策の検討のための協議費用を拠出するもの。					
案件概要 (5行程度以内。別添可)	在サハリン「韓国人」に一時帰国の支援を行う一方、永住帰国希望者の渡航・定着を支援し、併せて永住帰国希望の在サハリン「韓国人」に対するより適切な支援策の検討・実施のための調査・協議、サハリン残留者支援策の検討のための実態調査・協議を行っている。					
実施状況	平成22年3月31日までに、延べ16,519名の一時帰国、3,404名の永住帰国、2,838名のサハリン再訪問を支援している。					
予算の状況 (単位:百万円)		19年度	20年度	21年度	22年度	23年度要求
	予算額(当初)	279	268	265	186	
	予算額(補正後)	279	268	265		
	執行額	279	268	265		
	執行率	100%	100%	100%		
	費用総額(執行ベース)	279	268	265		
自己点検	支出先・用途の把握水準・状況	関係機関との協議する段階より当方が直接関わっているため、支出状況についてはすべて明確に把握している。また、会議にも当方の関係者が直接参加しており、実施状況や効果についても毎回適切に把握している。				
	見直しの余地	在サハリン「韓国人」問題について、これまで様々な支援事業を実施し成果を上げてきたところであるが、これらの事業について、韓国及びサハリンにおける関係機関と協議を行い、適切なニーズを把握することは、日本政府としての在サハリン「韓国人」問題に対する真摯な態度をアピールすることになり、事業の円滑な遂行にも資するものであるから、同水準の維持が必要であると考えられる。				
予算監視の効率化						
補記						



費目・使途
 (「資金の流れ」においてブ
 ロックごとに最大の金額が支
 出されている者について記載
 する。使途と費目の双方で実
 情が分かるように記載)

A.			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	一時帰国支援関連 126名		協議費	韓国政府及び大韓赤十字社との協議	1
支援費用	航空機費用(往復)	8			
支援費用	滞在費(7泊8日)	8			
	行政事務費	1			
計		17	計		1
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	永住帰国者支援関連 598名		協議費	ユジノサハリンスク市市政府との協議	1
支援費用	航空機費用(片道)	35			
支援費用	輸送費(バス)	2			
支援費用	生活用品	50			
支援費用	付添費	9			
支援費用	健康診断	7			
支援費用	支援団体助成	7			
支援費用	帰国説明会、永住帰国関連費用	7			
計		117	計		1
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	サハリン再訪問支援 296名			人件費、事務費、会議費	
支援費用	航空機費用(往復)	18	事務局経費	日赤 嘱託職員人件費(1名)	4
支援費用	旅行補助費	1	事務局経費	日赤 事務費、会議費	1
支援費用	輸送費	1	事務局経費	韓赤 職員(3名)	9
支援費用	招待状発給	1	事務局経費	韓赤 事務費、会議費	1
支援費用	親戚招請	2			
支援費用	付添費	2			
支援費用	支援団体助成	1			
計		26	計		15
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	療養院のヘルパー及び光熱費				
療養院費	ヘルパーの人件費(8名分)	16			
療養院費	光熱費	5			
計		21	計		0